

巻頭言

工学部と50周年



工学部長  
林 勇二郎

本学は、平成11年5月に創立50周年を迎える。日本海側の基幹大学として、これまで6万余人の卒業生・修了生を送り出し、教育と研究を通して我が国の発展に貢献した功績は記念するに値する。確かに戦後の経済成長には目を見張るものがある。しかし、これは和魂洋才よろしく西欧の知的ストックを借用し、新制大学の名のもとで徹底した教育の場の拡大によって達成されたものである。後続の工業諸国集団を先導し、21世紀の長丁場を走り抜くには、経済大国に見合った実力と自覚が求められることは言うまでもない。

「大学設置基準の大綱化」は、大国としての知的基盤を形成すべく、大学の自由化と個性化を目論んだものである。多面的にして柔軟な発想こそ知の萌芽に不可欠であり、そのためには硬直した制度や基準の緩和が前提となろう。平衡条件下で拘束育成される単結晶は、整然とした原子配列のもとで優れた特性を発揮するが、均一の個性でしか有り得ない。他方、非平衡条件のもとでの微細結晶やアモルファス晶の製造は、掌に載せたおはじきを床の上に放り出す所作に似ており、これは多様なマイクロ性をもったバルクを形成する。

21世紀に向けて、高度化と調和型の二つの技術の支援を責務とする工学部にとって、この50周年を新たな出発点とする認識が強い。基礎科学に依拠した不易なくして高度技術の流行はあり得ないし、調和型技術の流行には、人文・社会・自然科学にまたがる新たな不易が求められねばならない。新しい葡萄酒には新しい革袋が相応しい。個性に溢れた工学部の角間への移転が完了し、金沢ブランドの教育・研究の成果が醸造される日を期待したい。

今月の表紙写真

Cover Photo

「平成9年度入学宣誓式」を挙行

学部・専攻科 別 計2,038人が新たに入学

(関連記事は2ページ)



力強く宣誓する新入生代表の浅川恵美さん(教育学部)  
= 金沢市観光会館(金沢市下本多町)で(4月10日撮影)

がん研究所に **4月1日付け**

「分子標的薬剤開発センター」新設

(関連記事は3ページ)



新設された「分子標的薬剤開発センター」の看板を掲げた関係者(左から、岡田晃学長、佐々木琢磨センター長、磨伊正義がん研所長、西村俊道事務局長)  
= がん研究所(宝町)正面玄関で(4月10日撮影)





新生に激励の言葉を贈る岡田学長  
= 4月10日午前、金沢市観光会館で

平成9年度  
**入学宣誓式**

学長から「自発的な  
意志による勉学を」  
と励ましの言葉

4月10日、金沢市観光会館(下本多町)において平成9年度入学宣誓式が行われ、学部・専攻科・別科の新入生計2,038人が大学生活のスタートを切った。式では、岡田晃学長が「単に知識を獲得するのではなく、自発的意志によって勉学し、批判する能力を養ってほしい」と告辞した。

また同日、別会場で大学院(新入生647人)と医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻(同20人)の入学宣誓式も行われた。

なお、附属学校5校でも、4月8日と10日にそれぞれ入学式が行われた。

入学式関連の写真もう5枚を表紙・裏表紙にカラーで紹介

## 大学院・医療短大・附属学校でも入学式



大学院の入学宣誓式  
= 同上、医学部十全講堂(宝町)で



医療短大専攻科の入学宣誓式  
= 同上、同短大(鶴間)会議室で

## 大学院自然科学研究科を改組 数理情報科学専攻で初の入学宣誓式を挙行

大学院自然科学研究科は、これまで修士課程であった理学、薬学、工学の各研究科を博士前期課程として統合するなど、組織改組を行って新年度をスタートした。

また、同研究科の博士後期課程に5番目の専攻として新設された数理情報科学専攻の入学宣誓式が、4月28日、事務局特別会議室で行われた。

なお、これらの改組を機に、4月1日から「自然科学研究科事務室」が理学部内に学内措置として置かれた。

(なお、同研究科の改組については庶務課から関連するパンフレットが刊行された7ページ参照)



「自然科学研究科事務室」のプレート掲げる関係者  
= 4月1日午後、理学部事務部入口で

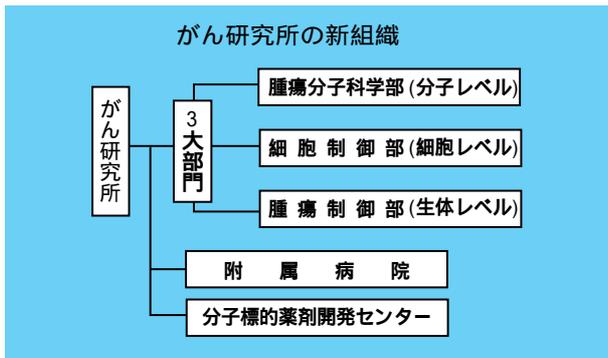
数理情報科学専攻の初めての入学宣誓式  
= 4月28日午前、事務局特別会議室で





# がん研究所が組織改組で新年度スタート

## 「分子標的薬剤開発センター」も発足



がん研究所附属病院(米泉)での腹部がん摘出手術

がん研究所(宝町)では平成9年度、従来の10研究部門を3大研究部門に改組し、併せて「分子標的薬剤開発センター」を新設して、所内相互協力で幅広い領域の研究を行う体制を整えた。

4月10日には、同センターの真新しい看板が関係者の手により同研究所正面玄関に掲げられた。

これにより、同研究所はがん制圧に向けて新たなスタートを切った。

がん研究所関連の写真もう1枚を表紙にカラーで紹介

## 医学部附属病院

# 総合診療部が正式に始動

昨年4月に院内措置として開設された医学部附属病院(宝町)の総合診療部は、平成9年度の予算措置により4月1日から正式にスタートした。同部は、専門医療を受ける前段階で医師と患者が気軽にコミュニケーションを交わり、適切な治療方法を探っていくための組織で、患者からも好評を得ている。



相談に訪れた患者に応待する受付担当者  
= 5月7日午前、医療部附属病院総合診療部受付窓口で

# 金沢市が“病院内学級”を開設

4月14日、医学部附属病院で金沢市立小立野小学校と同紫錦台中学校の“病院内学級”(設置者：金沢市教育委員会)の開級式が行われた。これまでのベッドサイドでの“訪問教育”に代わり、平成9年度から院内に設けられた教室で授業を行うこととしたもの。これにより、子供たちの勉強心と健康回復意欲の更なる向上が期待される。



開級式で子供たちを励ます高島力病院長  
= 4月14日午後、医療部附属病院“病院内学級”の教室で



## 「第48回金沢大学暁烏記念式」を開催

4月21日、附属図書館(角間)AV室で、毎年恒例の「暁烏記念式」が催された。今回、第48回を迎えた式典では、橋本哲哉附属図書館長、岡田晃学長に引き続き、暁烏家当主の暁烏哲夫氏のあいさつもあった。

これに続いて、富山大学人文学部教授・中本昌年氏の「いのちの水の流れゆくなり」と題する記念講演が行われ、会場に集まった多くの教職員・学生が熱心に聴き入った。



「暁烏記念式」であいさつする暁烏哲夫氏  
= 4月21日午後、附属図書館AV室で

### 第35回機械工業見本市

## MEX金沢'97に本学も参加

毎年恒例の「MEX金沢'97」(石川県鉄工機電協会主催)が4月17日から4日間、石川県産業展示館(金沢市袋島町)で開催された。これは産業見本市として日本海側で最大規模を誇るもので、県内を中心に約120の企業・団体が参加した。

本学からは共同研究センターがこれに加わり、パンフレットなどにより市民や企業関係者に同センターの研究協力体制などをPRした。



取材の記者に共同研究センターの業務を説明する安井武司センター長  
= 4月17日午後、石川県産業展示館1号館で

## 外国人留学生の“日本語研修コース”がスタート

4月15日、北陸地区の国立大学大学院等に進学を予定している外国人留学生を対象とした“日本語研修コース”(本学留学生センターが実施)が始まり、大学教育開放センター(角間)で受講生16名と関係者が集まって、開講式を行った。

同コースは、日本語を集中的に教育する目的で行われ、パソコンによる文章作りや、学外の施設を見学して日本語でレポートを書くという授業も組み込まれている。



日本語を学ぶ際の心構えを話す廣瀬幸雄留学生センター長(左)  
= 4月15日午前、大学教育開放センター講義室で





### 4月の全国・ブロック会議

本学が当番で開催した全国又は地方ブロックの会議

#### 第83回東海・北陸地区国立学校等 会計系部課長会議

4月24日・25日の両日、ホテル六華苑(金沢市  
広岡)で、「第83回東海・北陸地区国立学校等会  
計系部課長会議」が開かれた。

同会議には、本学を含めて32機関から50名が  
参加し、「会計経理事務の簡素・合理化」など  
について、協議を行った。



当番大学の代表としてあいさつする西村俊道事務局長  
= 4月24日午後、ホテル六華苑で

### 「平成 9年度 新婚記念植樹」 が行われる

みどりの日

4月29日(みどりの日)、『金沢大学の杜』(角間)の「ふれ  
あいの杜」で、新婚のカップル100組による「新婚記念植樹」  
(主催：(財)森の都金沢緑化協会)が行われた。

今回の記念植樹は、本学にとって昨年に引き続き2回目と  
なるもので、青空の下、山出保金沢市長、岡田晃学長のお  
祝いの言葉と参加者代表の「緑の都市宣言」に引き続き、  
フレッシュなカップルがコブシの木100本を植樹した。

新婚記念植樹関連の写真もう1枚を  
裏表紙にカラーで紹介



新婚カップルの代表も加わって行われたシンボル樹の植樹  
= 4月29日午前、『金沢大学の杜』の「ふれあいの杜」で

### 「平成 9年度 新規採用者オリエン テーション」を実施

4月22日、事務局大会議室で事務系新規採用者を対象に、  
「新規採用者オリエンテーション」が実施された。

このオリエンテーションは、新たに採用された職員に公  
務員としての心構えと基礎的知識を身に付けてもらうため  
のもので、15名(男6名、女9名)が受講した。日程の中では  
本学の施設見学も行われ、「大学には病院の仕事もあるのか」  
と驚いたように話す受講者も見受けられた。



「本学の概要」と題して講義する福本國太郎庶務部長  
= 4月22日午前、事務局大会議室で



山下純宏教授(医) 日本人で二人目の選出  
**英国の王立外科学会名誉会員に**

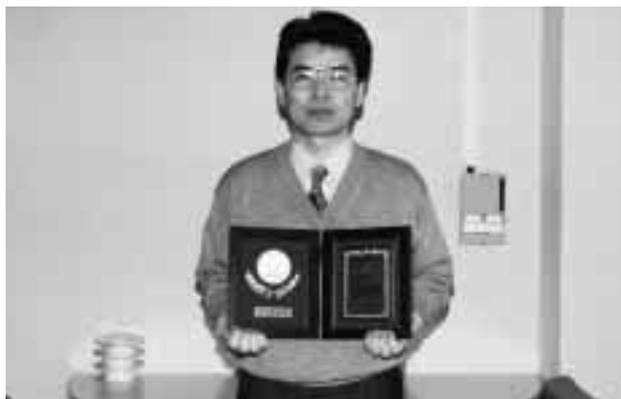


本学の山下純宏教授(医学部)がこのたび、16世紀からの伝統を誇る英国のエジンバラ王立外科学会(本部:エジンバラ市)の名誉会員に選ばれた。

同教授の間脳部位の脳腫瘍に関する治療や診断についての成果が評価されたもので、日本人としては二人目となるものである。任命式は、4月11日に英国エジンバラ市内にある同学会本部で行われた。

名誉会員証を手にする山下教授  
 =5月2日午後、医学部(宝町)の教授室で

玉井郁巳助教授(薬) 独創的な研究成果で  
 平成9年度 **日本薬学会奨励賞を受賞**



3月25日から3日間、東京で開催された日本薬学会第117年会で、本学の玉井郁巳助教授(薬学部)が平成9年度日本薬学会奨励賞「トランスポーターを介した薬物吸収の分子機構論的研究」を対象を受賞した。

この賞は、薬学に関連する分野で独創的な研究を行い、将来が期待される40歳未満の若手研究者に対して与えられる。

奨励賞の盾を持つ玉井助教授  
 =4月10日午後、薬学部(宝町)会議室で



**国際交流協定締結大学(その6)**

**ダブリンシティ大学**  
 (アイルランド)  
 [1991.10.14協定締結]

ダブリンシティ大学(国立)は、1980年に創立されたアイルランドで最も新しい大学であり、教員は約200人、学生は7学部で計6,000人を超える。

首都ダブリンにある85エーカー(約34ha)のキャンパスでは、新しい建物に混じって、19世紀にこの地にあったアルバート農業大学の建物が一部学舎に使用されている。

(写真は最近同大学から送付されたもの)



角間キャンパスにどことなく似たところがあるダブリンシティ大学の建物群  
 (左から、コンピュータスクール、ビジネススクール、フィジックスクール)

**ダブリン市内の写真もう2枚を裏表紙にカラーで紹介**



## 春の叙勲受章の方 (本学関係分)

4月29日、平成9年春の叙勲受章者が発表され、本学関係では次の方が栄えある叙勲を受章した。



勲六等宝冠章  
たけうち かずえ  
**竹内 一枝氏**  
(元医学部附属病院  
副看護部長)

## “シラバスデータベース”を使用開始

<http://sab.ad.kanazawa-u.ac.jp/syllabus/index.htm>

4月3日、学内LANを利用して全学のシラバス(授業計画)を自由に検索・閲覧できるデータベースの運用が開始され、開始に先立ち“閲覧試行式”が行われた。同式では岡田晃学長が自らコンピュータを操作して、運用の開始を祝った。

なお、全学10か所に専用パソコンが配置されている。



シラバスの検索・閲覧を行う岡田学長  
= 4月3日昼、本部棟2階学生部フロアで

## 3種類のパンフレット等を作成

このたび、「金沢大学ホームページ」(広報資料9、写真左)、「金沢大学の大学院改革 - 自然科学研究科の改組(平成9年度)を中心に」(同10、写真中央)(いずれも庶務課編集)及び「帰国外国人留学生名簿」(留学生課編集、写真右)が発刊され、学内外に配布された。



新たに作成されたパンフレット等

## 平成9年度 大学公開講座の日程決まる

- 公開講座(主催分)**「医用情報工学 - 21世紀の医療へ!情報科学技術の挑戦 - 」(9.4.24~6.5)100名募集
- 「くらしと交通 - 人と環境にやさしい交通環境の実現に向けて - 」(9.5.10~6.21)100名募集
- 「生涯スポーツと健康」(9.8.30~10.4)30名募集
- 「奇跡のホルモン、メラニンを合成してみよう」(9.9.16~9.27)15名募集
- 「遺伝子が語る日本人の起源」(9.10.4~12.13)30名募集
- 「母性援助論」(9.10.9~11.20)30名募集
- 「文学と精神分析」(9.10.11~11.15)30名募集
- 「科学風土記 - 加賀・能登のサイエンス」(10.1.17~2.21)30名募集
- 公開講座(共催分)**「親と子の法律学」 主催:法学部
- 「現代の生物学」 主催:理学部
- 放送講座(テレビ)**「果物・野菜散歩」(9月から12月まで13回を予定)650名募集予定
- 放送講座(ラジオ)**「検証:災害とは何か」(10月から1月まで13回を予定)100名募集予定

## 編集後記

若葉の緑がまぶしく映る季節となり、新学期を迎えたキャンパスでは一見して新入生と分かる初々しい学生の姿を目にすることができ、すがすがしい。

新年度からの大きな出来事と言えば、改組を図った大学院自然科学研究科と、大部門制を導入し分子標的薬剤開発センターを置いたがん研究所が新しくスタートしたことではないだろうか。特に、総合性・学際性などを掲げる自然科学研究科の改組は、これ

からの本学の大学院重点化に向けての第一歩となった。

さて、今年度から本紙の編集を手がけることとなったが、原稿作りやレイアウトなどがいかに大変かを思い知らされた。これからも試行錯誤の日が続きそうだが、教職員に親しまれる魅力のある広報紙となるよう努力していきたい。なお、既にお気付きのことと思うが、4月号から表紙のタイトル部分の配色を一部変更し、イメージチェンジしてみたが、いかがだろうか。(上梨)



このページには、カラーで紹介するのにふさわしい写真を集めています。

# 入学式スナップ

(関連記事は2ページ)



(上)「威風堂々」を演奏する金沢大学フィルハーモニー管弦楽団  
(下)各サークルから勧誘を受ける新入生  
=いずれも4月10日午前、金沢市観光会館で



(上)新入園児を迎えて一緒に手遊びをする先生と在園児  
=4月10日午前、附属幼稚園(平和町)プレイルームで  
(下)入学式を終え仲良く会場を出る新1年生  
=4月8日午前、附属小学校(同)体育館で



今年の「新婚記念植樹」には、熟年の新婚カップルも！  
=4月29日午前、『金沢大学の杜』の「ふれあいの杜」(角間)で  
(関連記事は5ページ)



ダブリンシティ大学がある首都ダブリン(アイルランド)の繁華街オConnell通り(上)とダブリン郊外にあるグレンダロホの遺跡  
(関連記事は6ページ)

(写真は2枚とも高森薫さん(国際交流課)が提供)

平成9年5月16日発行  
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-11 金沢市角間町  
金沢大学庶務部庶務課研究協力・広報係

TEL 0762-64-5019  
FAX 0762-34-4010

本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail)=[general1@kenroku.ipc.kanazawa-u.ac.jp](mailto:general1@kenroku.ipc.kanazawa-u.ac.jp)でも受け付けています。

